

題名	Temporal Evolution of the Gravitaxis of <i>Euglena gracilis</i> from a Single Cell
掲載雑誌	Plants 2021, 10, 1411. https://doi.org/10.3390/plants10071411
著者	Kazunari Ozasa (1), Hyunwoong Kang(2), Simon Song(2), Shota Kato(3), <u>Tomoko Shinomura</u> and Mizuo Maeda (1) (1) Riken, (2) Hanyang University, (3) Utsunomiya University
概要	<p>バイオサイエンス学科篠村知子教授との共同研究により、理化学研究所の尾笹一成博士らの研究チームが、ユーグレナの重力走走性を解析するためのマイクロチャンバーと、細胞の動きを観察するための光学系を構築し、複数の細胞の動きを画像処理技術を応用することで、はじめて微細藻類の重力走性を可視化し、解析を可能とすることができました。帝京大・宇都宮大のチームからは、材料の提供や重力走性の解析方法のアイデアの一部を提供し、実験結果を共同で議論しました。本論文は、Plants誌の特集"Molecular and Cellular Mechanisms of the Acclimation Response in Microalgae"(Edited by T. Shinomura and S. Tamaki)への投稿論文（査読付き）として採択されました。</p> <p>本論文はオープンアクセスジャーナルでの採択なので、下記のURLから閲覧可能です。 https://doi.org/10.3390/plants10071411</p>
関連画像	 <p>実験材料のユーグレナの顕微鏡写真</p>